

鳥取県有種雄牛 ‘隆福也’ たかふくなり

1 ‘隆福也’の造成

(1) 背景・目的

畜産試験場では優秀な種雄牛の造成を期待する農家要望に応え、鳥取県和牛改良方針に基づき、県内和牛の改良を促進するために独自性の高い種雄牛造成に取り組んでいる。

その種雄候補牛の遺伝的産肉能力を判定する現場後代検定を2003年から実施し、21頭が種雄牛として選抜されてきた。2018年5月に新たに‘隆福也’が好成績で選抜されたので紹介する。



(2) ‘隆福也’の要約

1) 血統

‘隆福也’は脂肪交雑育種価が県内トップクラスの母‘ふくふく’に、‘隆之国’を交配し作出された。藤良系が色濃い血統である。

2) 育種価評価

現場後代検定後の2018年8月評価で、肉質に大きく影響する脂肪交雑は県内種雄牛の中で2位の好成績、県内雌牛の上位1/100を大きく超える数値となっており肉質の改良が期待できる。

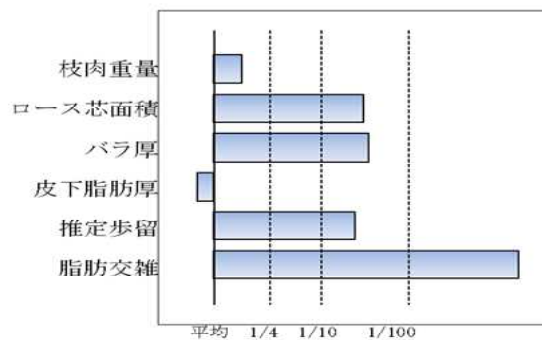
隆之国 黒 13809 (84.2) [島根・出雲]	福之国 黒原3491(83.1) [宮崎・宮崎]	北国7の8 黒原1530(86.7)	第7糸桜 黒育29 きたぐに7 黒高34962
	間検0.94 4.2	ふみさかえ 黒原624154(80.5)	福茂 黒高921 さかえ 黒高113497
	第17たかこ 黒原1141519 (82.8) [宮崎・都城]	隆桜 黒高905(82.7)	隆美 黒育161 はらだ 黒高55908
		はなかわ3の8 黒原567156(81.3)	第20平茂 黒育134 はなかわ3 黒原104284
ふくふく 黒原 1371836 (82.5) [宮崎・西白] 育種価CAABAA	福之国 黒原3491(83.1) [宮崎・宮崎]	北国7の8 黒原1530(86.7)	第7糸桜 黒育29 きたぐに7 黒高34962
		ふみさかえ 黒原624154(80.5)	福茂 黒高921 さかえ 黒高113497
	ふくはな 黒原1173435 (83.0) [宮崎・西白]	福桜(宮崎) 黒原2445(82.1)	隆桜 黒高905 きよふく 黒原568518
		第6やすはな 黒原922836(81.4)	安平 黒原2208 やすはな黒原491704

県内雌牛との育種価比較

育種価評価(遺伝的能力評価値)

	隆福也	県内雌牛平均
枝肉重量	40.40	30.29
ロース芯面積	16.98	7.87
バラ厚	1.46	0.71
皮下脂肪厚	-0.29	-0.36
推定歩留	3.02	1.51
脂肪交雑	3.17	1.40

2018年8月評価



※「平均」「1/4」「1/10」「1/100」はそれぞれ県内供用中雌牛の「平均」「上位1/4」「上位1/10」「1/100」の育種価を示す

2 試験成果の概要

【現場後代検定成績】

性別	母の父	母の祖父	肥育者氏名	と畜場所	と畜月齢	格付	枝肉重量	ロス芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留	BMS	脂肪交雑等級	BCS	オレイン酸含有率
去勢	安福久	勝忠平	肥育農家A	名和	27.2	A 5	532.9	96	9.7	2.1	79.8	12	5	3	46.9
去勢	平茂晴	平茂勝	肥育農家A	名和	26.8	A 5	530.9	75	9.8	2.6	76.7	12	5	4	51.1
去勢	安福久	百合茂	肥育農家B	名和	28.7	A 5	518.4	72	8.2	2.1	75.8	12	5	3	42.8
去勢	安福久	糸福	畜産試験場	名和	28.9	A 5	582.4	85	10.2	2.7	77.5	11	5	3	45.5
去勢	白清85の3	光平福	畜産試験場	名和	26.9	A 5	515.0	68	8.6	2.4	75.3	11	5	4	48.4
去勢	百合茂	飛驒白清	肥育農家B	名和	28.7	A 5	467.4	67	7.8	3.5	74.3	10	5	3	56.6
去勢	平茂晴	糸新鶴	畜産試験場	名和	28.6	A 5	493.1	61	8.5	2.7	74.4	10	5	4	53.9
去勢	白清85の3	平茂勝	肥育農家B	名和	28.3	A 5	516.9	69	8.2	3.5	74.2	9	5	4	51.5
去勢	糸北土井	智頭平茂	畜産試験場	東京	28.4	A 5	544.0	70	9.4	2.7	75.6	9	5	4	46.2
去勢	百合白清2	北仁	畜産試験場	名和	28.1	A 5	577.5	69	9.7	4.1	74.0	9	5	4	55.3
雌	百合白清2	勝安波	畜産試験場	東京	28.7	A 5	484.0	60	8.7	4.6	72.8	9	5	3	55.3
雌	第1花国	安平	肥育農家C	神戸	29.4	B 5	467.4	62	9.2	4.4	73.8	9	5	3	55.5
雌	隆之国	第3寿高	畜産試験場	東京	29.7	A 5	410.0	60	8.8	2.3	75.8	9	5	4	52.6
雌	百合茂	安平	畜産試験場	東京	29.8	A 5	526.0	63	8.2	3.4	73.4	8	5	4	55.9
雌	安平照	第5隼福	肥育農家D	東京	29.6	A 5	430.0	65	7.6	3.0	74.9	8	5	3	56.9
雌	安福久	百合茂	畜産試験場	東京	30.2	A 4	526.0	68	9.0	4.1	73.9	7	4	4	58.0

全体	16頭	507.6	69.4	8.9	3.1	75.1	9.7	4.9	3.6	52.0
去勢	10頭	527.9	73.2	9.0	2.8	75.8	10.5	5.0	3.6	49.8
雌	6頭	473.9	63.0	8.6	3.6	74.1	8.3	4.8	3.5	55.7

注) 単位は枝肉重量：kg ロース芯面積：cm² バラ・皮下：cm
歩留・オレイン酸含有率：%

検定の結果、BMS ナンバーは改良目標である8.0を1.7上回る9.7であり、県歴代1位の好成績であった。(これまでの1位：白鵬85の3(9.6))。また、肉質等級4等級以上率も100%と改良目標の80%以上を大きく上回った。

3 普及の対象及び注意事項

本牛は県を代表する「白鵬85の3」や「百合白清2」と血縁が薄く、両牛の娘牛との交配がしやすいことから、今後の活躍が大いに期待できる。ただし、前肢帯筋異常症(以下 FMA)の遺伝子を保因しており、FMA 保因の可能性のある雌牛との交配には注意が必要である。

4 試験担当者

(育種改良研究室 主任研究員 お え と し あ き 小江敏明)